



タウンサポーター

下都賀教育事務所ふれあい学習情報紙 第173号【令和8年2月号】

下都賀教育事務所ふれあい学習課

検索

【発行】 下都賀教育事務所ふれあい学習課

【Tel】 0282-23-3422

【E-mail】 shimotsuga-hureai@pref.tochigi.lg.jp



2月はとちぎの子ども育成憲章制定月



地域をつなぐふれあい学習



壬生町壬生中央公民館

「第4回 みぶ城址フェスティバル」

壬生町では、城址公園ホール（壬生中央公民館）、図書館、歴史民俗資料館の3館が所在する壬生城址公園を会場に標記の行事が開催しました。

当日は好天の中、約1,000名の方々が来場して、各々の施設、あるいは周辺で開催されるクイズラリー等の各種イベント、カフェや販売、バザー、コンサート、クイズ、工作など、老若男女問わず思い思いに楽しまれていました。

公民館職員は、普段あまり小さな子どもたちと接することがありませんが、この日はスタンプラリー攻略のヒントを教えたり、回答の手助けをしたりと、楽しく触れ合う機会がもてました。また、大人同士もスタンプラリーを通して交流して楽しいひとときを過ごすことができました。



小山市

「高校生の居場所を目指して！ユースセンター開設」

小山市立生涯学習センターでは、高校生の「居場所」づくりを目的としたユースセンター事業が始まりました。昨年12月17日からプレオープンし、様々なワークショップを通し、高校生たちと交流を深めてきました。そして2月22日から本格オープンを迎え、多くの高校生たちの「居場所」となるよう、高校生と一緒に空間を作り上げています。センター内にはWi-Fiや漫画、電子レンジ等が整備され、より快適な環境で過ごせるようになっています。また、ユースセンターには専門のコースワーカーが常駐し、活動のサポートを行っています。

高校生たちが安心して過ごし、新たな挑戦や心のつながりを育む場所として、ユースセンターは今後も活動を進めていきます。



下野市石橋公民館

「石橋公民館講座「こどもクラブ～ちびっこ料理教室～」

こどもクラブでは、年4回、小学生を対象とした「ちびっこ料理教室」を開催しています。講師を務めるのは、地域で長年食育活動に携わっている「市内の家庭教育オピニオンリーダー」の皆さんです。本講座では、子どもたちのリクエストを取り入れた献立を準備し、毎回和気あいあいと料理を楽しんでいます。子どもたちだけで参加するため、親以外の大人（祖母世代）と触れ合う貴重な機会となるだけでなく、自ら考えて動く「自主性」も育まれます。また、グループでの調理を通して、仲間との協力や他者への配慮を自然に学ぶ場にもなっています。

料理教室は、子どもたちが社会性を育むとともに、地域の中で安心して自分らしく過ごせる大切な居場所となっています。



下都賀地区地域コーディネーター養成研修

本研修は、互いに育ち合うことができる豊かな人間関係（「育ちあう絆」）づくりと、学校・家庭・地域の教育力の向上を図るため、地域と学校の関係づくりを担う地域コーディネーターの役割等、基本的な知識や技術の習得を目指し、実施しました。

今年度から全4回とし、第1回は地域コーディネーターに期待される役割、第2回は現地研修を通して地域社会とのつながりづくりを行い、第3回はコーディネーターの手順を学びました。最終回の第4回の研修は、管内で活躍されている現役コーディネーターの方をお迎えし、日頃の活動紹介をしていただいたり、参加者からの質問に答えていただいたり、参加者にとってこれから地域コーディネーターとして活動するために大変有意義な内容となりました。

〈参加者の感想〉

- ・これから活動をしていく中で、本当にとても良い勉強になりました。全ては子どもたちにとってのよりよい環境で、育ってくれることにつながっていると思います。
- ・第1回目に参加させていただいた際は、不安でいっぱいでしたが、学校側の立場の者としていろいろな話を伺うことができ、貴重な経験をさせていただきました。
- ・いろいろな質問に答えていただけて、たくさんのヒントやキーワードを得ることができました。現役で活躍されている方の生の声を伺う機会を設けていただき、勉強になりました。

下都賀地区ふれあい学習ネットワーク 兼下都賀地区生涯学習研究会第2回研修会

1月27日（火）、下野市石橋公民館にて研修会を開催しました。今年度は、文教大学人間科学部准教授・青山鉄兵氏を迎え、「子どもが『居たい』『行きたい』『やってみよう』と思える居場所づくり」について御講演いただきました。

本研修には、教職員、社会教育行政職員のほか、児童館職員やこども福祉関係者など、多様な立場の参加者が集まりました。講演では、家庭・学校・地域の変化に伴う子どもの「居場所の無さ」についての説明があり、安心できる居場所づくりの重要性を改めて認識しました。特に、特定の対象に限定しないユニバーサル型の居場所づくりの意義は、今後の取組を考える上で示唆に富む内容でした。後半はワールドカフェ方式で意見交換を行い、幅広い立場の参加者同士の交流を通して関係者機関のネットワークの充実を図ることができました。

今後も、この研修で生まれたつながりを生かし、多様な子どもたちの居場所づくりを推進していきたいと考えています。

〈参加者の感想〉

- ・誰かの居場所になると誰かの居場所でなくなる。同時に皆の居場所は難しいという話を実感できた。一人でも多くの子どもの居場所をつくりたい。
- ・支援員・教育員（「助けてあげよう」、「教えてあげよう」としすぎる）という言葉にはっとさせられ、これまでの活動を振り返った。視点を変えて取り組んでいきたい。
- ・ユニバーサルな居場所は課題も大きいですが、ワールドカフェでよいヒントをいただき、次へのステップが見えた。



「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。「ふれあい学習」を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。